

## あ と が き

本号の編集委員会の数週間前、シグマ委員会の創設期からのメンバーで、長年にわたり核データ研究活動に尽された山本正昭氏の訃報に接した。病に倒れられた頃は、むしろ核データのユーザーとして高速炉臨界実験の解析に携われ、その立場から核データコミュニティに多くの暖いかつ貴重なコメントを寄せられました。山本さんの御冥福をお祈り致します。

北大での秋の学会は晴天にめぐまれ、核データのセッションでも、DDX測定の隆盛、核データ評価の自動化やシステム化など特徴ある発表がならんだ。一方、核データ評価・研究活動が一つの曲り角に来ていると言われ始めて久しく、JENDL-3の完成により更にこれが顕在化することはまちがいない。新たな模索の時代に、本誌が果たすことのできる役割を、読者各位と共に見つけ出せたら、と考えている。

(吉田 正 記)

### 編集委員

浅見 哲夫	(原研, 委員長)
喜多尾 憲助	(放医研)
高野 秀機	(原 研)
中川 庸雄	(原 研)
吉田 正	(NAIG)